

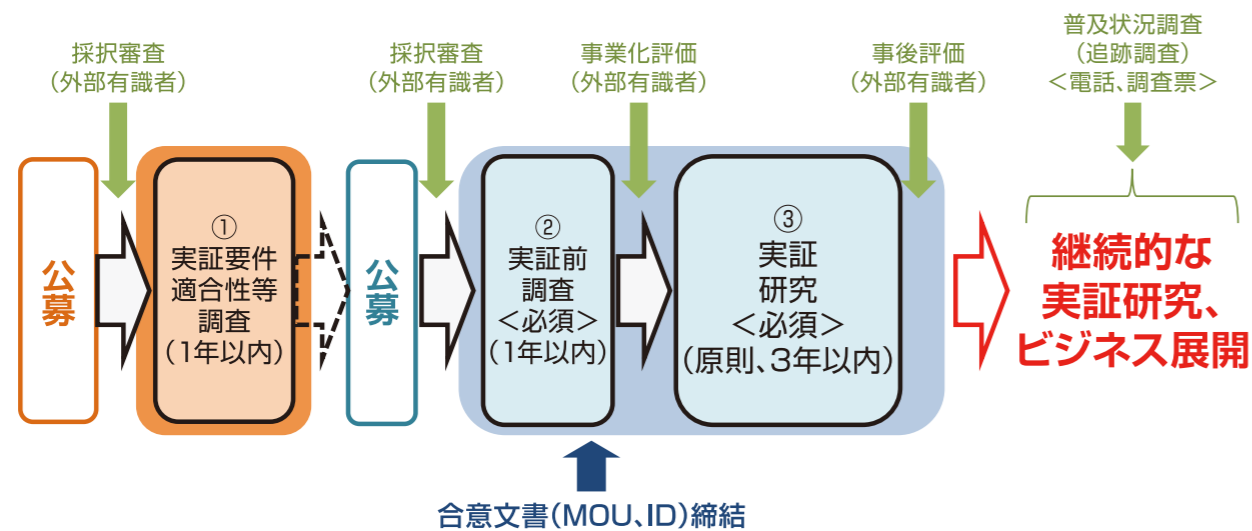
国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業 ～日本の省エネルギー技術の国際展開を支援～

目的

- ▶ 我が国が強みを有するエネルギー技術・システムを対象に、相手国政府・公的機関等との協力の下、海外の環境下にて技術・システムの有効性を実証し、民間企業による技術・システムの普及につなげます。
- ▶ これにより、海外でのエネルギー消費の抑制を通じた我が国のエネルギー安全保障の確保に資するとともに、温室効果ガスの排出削減を通じた地球温暖化問題の解決に寄与します。

実証事業フロー

- ▶ NEDOの国際エネルギー実証事業は、以下の①～③のステップで実施しています。

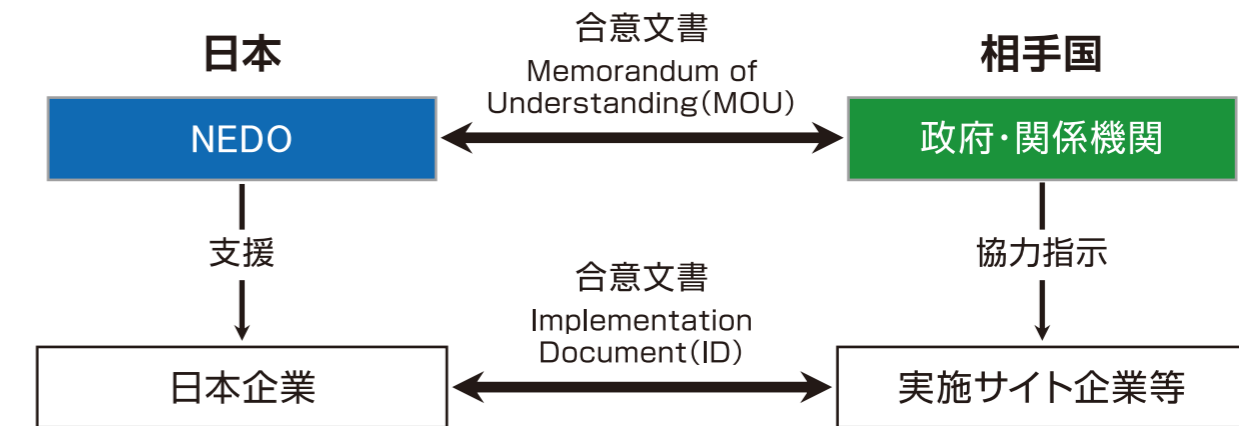


重視するポイント

- ▶ 相手国のエネルギー政策に合致するものであり、現地のエネルギー消費の抑制に寄与するもの。
- ▶ 実証終了後、企業が現地において、ビジネス活動により技術の普及を実現するもの。
- ▶ 実証研究やその後の技術の普及が、我が国へのエネルギー供給の円滑化を含む我が国のエネルギー政策の実現に寄与するもの。

実証フェーズにおける日本側・相手国側の協力体制

- ▶ 実証研究の実施にあたっては、日本が強みを有する技術・システムを軸に、相手国政府や産業界のニーズに合わせ、相手国政府・関係機関と役割を分担します。NEDOは、両国間のフレームワーク構築を担うとともに、相手国政府に対して普及促進に向けた政策的支援を求めるとともに、日本の技術・システムの海外普及展開を推進します。



各フェーズの概要

① 実証要件適合性等調査

調査期間	1年以内
実施形態	委託(労務費等) ・1件20百万円未満

② 実証前調査

調査期間	1年以内
実施形態	助成(必要経費(労務費、その他経費、委託費・共同研究費)に以下の助成率を乗じた金額をNEDOが負担) ※機械装置等費は計上不可。 <助成率> ・大企業: 1/2 (NEDO負担額上限20百万円未満) ・中小企業等: 2/3 (NEDO負担額上限30百万円未満)

③ 実証研究

事業期間	原則、3年以内(詳細設計～機器製作～輸送～据付～試運転～実証運転)
実施形態	助成(必要経費(機械装置等費、労務費、その他経費、委託費・共同研究費)に以下の助成率を乗じた金額をNEDOが負担) <助成率> ・大企業: 1/2 (NEDO負担額上限20億円) ・中小企業等: 2/3 (NEDO負担額上限30億円)

※本事業は、政府予算に基づき実施するため、予算案等の審議状況や政府方針の変更等により、公募の内容等が変更される場合があります。

問い合わせ先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
省エネルギー部 国際グループ 担当: 高野、上野、沼田
TEL: 044-520-5284 MAIL: energysaving@ml.nedo.go.jp http://www.nedo.go.jp/